

# スマートウォッチ

## CHRONOWEAR 2

### クロノウェア 2

#### QSW-02H(SG)

取扱説明書



この度は、スマートウォッチ クロノウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分に生かして正しくご愛用ください。

## 目次

安全上の注意点	3
使用上の注意点	4
本製品の紹介	5
各部の名称	5
スマートフォンプリ	5
製品諸元	6
使用方法	7
1. 基本操作	7
2. スマートフォンとの Bluetooth 接続	8
3. 充電	8
4. ファームウェアの更新	9
5. 工場出荷状態に戻す	9
機能と操作の説明	9
1. 常用機能	9
1.1 運動記録モード	9
1.2 歩数計	10
1.3 心拍計	11
1.4 血中酸素	12
1.5 睡眠モニタ	13
1.6 体表温度	13
1.7 深呼吸	14
1.8 スマートフォンを探す	14
1.9 ストップウォッチ	15
1.10 カウントダウン・タイマー	15
1.11 天気、気温の表示	15
2. 通知機能	16
2.1 アラーム	16
2.2 電話着信時のマナーモード切替、応答拒否	16
2.3 ショートメッセージ、アプリ通知	17
2.4 座りすぎアラート	18
2.5 Bluetooth 接続切断通知	19
2.6 運動目標達成通知	19
3. 便利な機能	20
3.1 音楽コントロール	20
3.2 カメラコントロール	20
3.3 時計文字盤のカスタマイズ	21
4. その他の機能	22
4.1 装着テスト	22
4.2 測定データの同期	22
4.3 腕を上げて画面オン	22
4.4 スイッチ設定	22
4.5 その他	23
故障かなと思った時は	24

## 安全上の注意点

本製品にはリチウムイオン電池が使用されています。通常のご使用においては安心してご使用いただけますが、使い方や置き場所などによっては思いがけない事故につながることがあります。以下の注意に気をつけて安全にご使用ください。誤った使用方法による故障、破損は、製品保証の対象外になります。

### 1. 高温になる場所で、充電、放置しない

ストーブのそば、炎天下の自動車の車内など高温になる場所で充電、放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

### 2. 火中に投入しない

火中に投入すると、破裂や発火し非常に危険です。加熱すると、液もれ、破裂、発火などが起こる場合があります。

### 3. 電子レンジなどに入れない

電子レンジに入れたり、電磁調理器の上に置かないでください。誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因になります。

### 4. 水の中に浸さない

本製品の耐塵防汚性能はIP68です。一般的な生活環境の中では粉塵が製品に侵入せず、軽い防水機能（常温の真水に深さ2mに30分浸しても有害な影響がない程度）がありますが、長時間水没した場合は、発熱、破裂、発火の可能性があるため電源を切り使用を中止してください。浸水による故障はいかなる場合も保証の対象外です。

### 5. 分解、改造をしない

分解、改造をすると、機器の故障や危険を防ぐ機能が損なわれ破裂、発熱、発火の原因となります。

### 6. 強い衝撃を加えない

高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。内蔵しているリチウムイオン電池が変形したり、保護機構が壊れ、発熱、破裂、発火の原因になります。

### 7. 釘を刺したり、踏みつけたりしない

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

### 8. 付属の充電器で充電する

必ず専用の充電器（チャージャー）を使用して充電してください。専用器以外で充電すると発熱、破裂、発火などの原因になります。

### 9. 製品の異常に気づいたら使用を中止する

異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた時は、ただちに使用を中止してください。

## 使用上の注意点

### 医療機器ではありません

本製品及びスマートフォンアプリは一般的なウェルネス・フィットネス目的の製品であり、医療機器として設計されたものではなく、病气などの診断、治療、予防の目的にはご使用いただけません。

本製品の機能は、一般的な健康維持のみを目的としたものであり、医療目的で使用したり、判断したりするためのものではありません。質問や健康上の問題がある場合は、医療の専門家に必ず相談してください。

### 水没にご注意ください

本製品はIP68相当の防塵防水機能を備えておりますが、水蒸気や石けんが侵入してしまう恐れのあるお風呂、塩分を含む海水に触れる海水浴、塩素などが含まれる水を使ったプールでの使用、強い水流に当てるなどにより浸水する場合があります。ご使用にあたっては十分にご注意ください。

※水没品は無料修理の対象になりません。

### 合成皮革ベルトの色移り

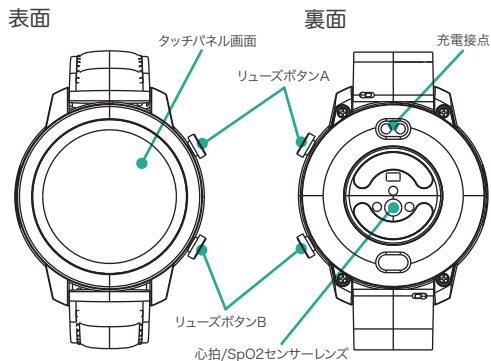
付属の合成皮革ベルトは、汗や水などに濡れた場合や摩擦などにより、ベルトそのものの変色・退色や、衣服等へ色移りが起きる場合がありますのでご注意ください。

- 本取扱説明書に記載のスマートウォッチ画面や操作手順、スマートフォンアプリの画面や操作手順は、ファームウェアやソフトウェアのアップデートに伴い、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書に記載のイラストは実物と異なる場合があります。

## 本製品の紹介

本製品は、心拍センサー、SpO2(血中酸素濃度)センサー、温度センサー、加速度センサーを備え、バイタルサインや日々の運動量、睡眠状況を継続的にモニターすることでユーザーの健康状態を可視化し、健康な生活作りに役立つものです。スマートフォンアプリと連動することで、各種設定の収集データをスマートフォンと同期することができます。健康管理のほか、スマートフォンの電話着信通知、アラーム、メッセージ通知などの機能も備えます。

## 各部の名称



## スマートフォンアプリ

### スマートフォンアプリ『WearLog+』

スマートフォンで下記のQRコードを読み取るとアプリのダウンロードサイトにアクセスできます。

また、画面点灯状態でスマートウォッチのリューズボタンBを短く押して、メニュー画面を表示し、上下にフリックして「設定」アイコンをタップ、上下にフリックして「WearLog+をダウンロード」をタップして、ダウンロードサイトのQRコードを表示することもできます。



iOS

5



Android

## 製品諸元

内蔵バッテリー	充電式リチウムイオンポリマー電池
連続動作時間	約10日間(設定・使用状況による)
充電時間	約3時間
アプリの対応OS	iOS 10.0以降 / Android 5.1以降
防塵防水	IP68
材質	ABS樹脂、アルミニウム合金、ステンレス鋼、合成皮革(PU)、シリコンゴム
充電方式	専用充電座付きケーブル
ベルト取付幅	20mm
Bluetoothバージョン	5.1
液晶画面サイズ	1.32インチ(円形)
画面解像度	360 x 360
タッチパネル	シングルタッチ
ボタン	側面リューズボタン x 2
バッテリー容量	350mAh
ケース寸法	53(縦) x 47(横) x 16.3(奥行)mm
重量	約50g(ベルトを含む)
カラーバリエーション	シルバークレー
技術認証	 210-162113

## 防塵防水機能についてのご注意

本製品はIP68相当の防塵防水機能を備えておりますが、水蒸気や石けんが侵入してしまう恐れのあるお風呂、塩分を含む海水に触れる海水浴、塩素などが含まれる水を使ったプールでの使用、強い水流に当てるなどにより浸水する場合があります。ご使用にあたっては十分にご注意ください。

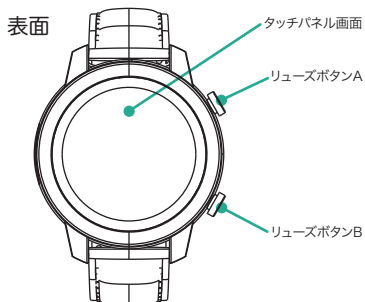
※水没品は無料修理の対象になりません。

6

## 使用方法

### 1. 基本操作

- (1) 起動：右側面のリユーズボタン A を 3 秒間長押しすると起動し、タッチパネル画面に時計文字盤が表示されます。



- (2) ボタン操作 1：時計文字盤が点灯した状態でリユーズボタン A を短く押すと、タッチパネル画面が点灯します。
- (3) ボタン操作 2：時計文字盤画面が点灯している状態でリユーズボタン B を短く押すと、メニュー画面が表示されます。
- (4) ボタン操作 2：任意の画面が点灯した状態でリユーズボタン B を短く押すと、時計文字盤画面に復帰します。
- (5) メニュー画面の操作：メニュー画面を上下にフリックして任意のメニューをタップして選択するとメニュー詳細画面が表示されます。詳細画面を右方向にフリックするとメニュー画面に戻ります。



- (6) タッチパネル操作：時計文字盤画面を指で左右にフリックすると画面が切り替わります。右にフリックした場合、順に心拍数、体表温度、血中酸素、睡眠、天気情報、歩数の画面になります。
- (7) 画面点灯：本製品を腕に着けた状態で、手を振り上げる動作で点灯させることができます。この点灯動作の設定は、スマートフォンアプリで変更できます。
- (8) 電源オフと再起動：リユーズボタン A を 3 秒間長押しすると電源オフまたは再起動を選択する画面が表示されます。それぞれのアイコンをタップしてください。

### 2. スマートフォンとのBluetooth接続

- (1) 本製品は、スマートフォンと Bluetooth で接続して使用します。スマートフォンで Google Play(Android OS) や、APP Store (iOS) で “WearLog+” を検索し、ダウンロードとインストールを行なってください。インストールが完了したら、スマートフォンの Bluetooth 機能をオンにしてアプリを開き (スマートフォンの設定で Bluetooth ペ어링を行う必要はありません)、ユーザー登録後デバイス (スマートウォッチ) をアプリに追加してください。

#### Bluetooth 接続の解除

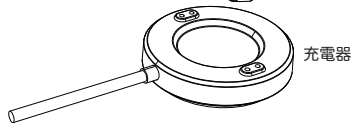
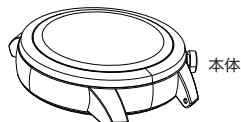
スマートフォンと本製品の Bluetooth 接続を解除したいときは下記の手順で行なってください。

“WearLog+” を開く → デバイス → デバイス設定 (デバイスアイコンをタップ) → 切断

iOS の場合は、上記手順に加えて、スマートフォンの Bluetooth 設定で本製品のペ어링の削除操作も行なってください。

### 3. 充電

- (1) 充電：本製品は充電式です。電源オフの状態では本製品を充電すると、自動的に電源がオンになり、時計文字盤が表示されます。時計文字盤が消灯後に、充電中の本製品を動かすと点灯し、充電中を示すアニメーションが表示されます。充電中はリユーズボタンを短く押ししたり、タッチパネルをタップして時計文字盤を表示させる以外の操作はできません。



## (2) 充電量不足：

- a. 低電力アラート：本製品の充電量が不足しているときに通知します。画面消灯時にタッチパネルを短くタップすると低電力アイコンが表示されます。
- b. 低電力自動オフ：電池残量が少ない場合、自動的に電源がオフになります。

## 4. ファームウェアの更新

本製品のデバイス・ファームウェアに更新がある場合、アプリ接続時にファームウェア更新通知が行われます。アプリで通知があった場合には、次のような操作でアップデートしてください。

"WearLog+"アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→「ファームウェア・アップデート」をタップ

## 5. 工場出荷状態に戻す

本製品のデータを削除し、工場出荷時の状態に戻すには次のような操作を行ってください。

"WearLog+"アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→デバイスのリセット

この操作後、本製品のデータはすべて削除され、各種設定も初期設定値に戻ります。

## 機能と操作の説明

### 1. 常用機能

#### 1.1 運動記録モード

##### (1)機能紹介

a.運動前に運動タイプを選択することにより、収集データをウォッチの画面や"WearLog+"アプリで確認することができます。屋外ランニング、屋外ウォーキング、屋内ランニング、屋内ウォーキング、トレッキング、ステアステッパー、屋外サイクリング、フィットネスバイク、クロストレーナー、ローイングマシンの10種類の運動モードを選択できます。このうち、屋外ランニング、屋外ウォーキング、屋内ランニング、屋内ウォーキング、トレッキングのモードでは、運動時間、心拍数、消費カロリー、歩数、移動距離、ペースを記録します。ステアステッパー、屋外サイクリング、フィットネスバイク、クロストレーナー、ローイングマシンのモードでは、運動時間、心拍数、消費カロリーを記録します。いずれのモードでも、運動の途中で記録を一時停止し、任意に再開することができます。

- b.自動終了：ウォッチが運動状態にないと判断した場合、自動的に運動モードを終了します。
- c.データ保存："WearLog+"アプリと接続していない場合、直近3回までの運動データは、ウォッチに保存され接続時に転送されます。

##### (2)操作説明

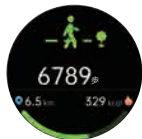
- a.記録の開始：画面点灯時にリユーズボタンBを短く押してメニュー画面を表示し、「運動」アイコンをタップして、運動モード選択メニューを表示させます。上下にフリックすると運動のリストが表示されます。屋外ランニングを例にとると、「屋外ランニング」をタップすると記録が開始、表示されます。上下のフリックで他の収集中データが表示されます。しばらく操作を行わないと、自動的に画面が消灯します。リユーズボタンを短く押す、または腕の振り上げ動作で再表示します。
- b.一時停止と記録の終了：収集中のデータ表示画面で左にフリックすると、「一時停止/終了」画面に切り替わります。「一時停止」をタップすると運動記録が一時停止し、「再開」で再開します。「終了」をタップすると運動記録モードを退出し、このセッションの運動データを表示します。もし運動時間が短すぎる場合は、データが保存されない旨のお知らせを表示します。
- c.一時停止と記録の再開：運動記録中の画面消灯時に、リユーズボタンBを短く2回押すと(画面点灯時には1回)、運動記録は一時停止します。その後さらにリユーズボタンBを短く2回押すと(画面点灯時には1回)運動記録が再開します。



運動モード選択画面

## 1.2 歩数計

- (1)機能紹介：この画面では、1日の総歩数、移動距離、消費カロリーを表示します。ウォッチの時刻を毎日0時にリセットされます。
- (2)操作説明：時計文字盤からタッチパネルを指で左右にフリックすると歩数計の画面に切り替わります。



歩数計画面

## 1.3 心拍計

### (1)機能紹介

- 心拍数測定：心拍測定画面では、心拍数の測定が行え、計測開始から10秒間程度で結果が表示されます。この画面は、60秒間操作しないと自動消灯し待機状態となります。
- 心拍数自動モニター：“WearLog+”アプリでこの機能のスイッチをオンにすると、スマートウォッチは定時（10分間おきに1回）で心拍数を自動モニターし、データを記録します。スマートフォンとウォッチをペアリングすると、データがアプリ側にアップロードされます。
- 心拍アラート：心拍数自動モニタがオンになった状態で、心拍の上限値を設定することができます。この場合、もし心拍数が上限を超えた場合、心拍アラートが表示されます。

### (2)操作説明

- 心拍数測定：時計文字盤を左右にフリックし、心拍数画面に切り替えるか、またはメニュー画面を表示し心拍数をタップすると計測を開始します。しばらくして計測が完了すると計測値が表示されます。測定できなかった場合は、“-”が表示され、その後待機状態になります。
- 自動モニタの設定：“WearLog+”アプリで設定します。  
“WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→スイッチ設定→心拍数自動モニター→スイッチをオン
- 心拍アラート：“WearLog+”アプリで設定します。  
“WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→心拍アラート→アラート基準値→保存



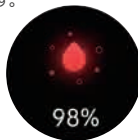
心拍数画面



心拍アラート画面

## 1.4 血中酸素

- (1)機能紹介：スマートウォッチの画面を左右にフリックし、血中酸素の画面を表示します。または、メニュー画面を表示し血中酸素をタップすると測定を開始します。スマートウォッチを安定させて20秒間ほどで測定値が表示されます。もしスマートウォッチが安定せずに測定エラーになった場合、エラー画面が表示されます。スマートウォッチ本体：リアルタイムの測定値を表示します。アプリ：血中酸素や睡眠時無呼吸状態のデータをグラフ表示します。



血中酸素測定画面



測定エラー画面

### (2)操作説明

- 手動測定：スマートウォッチ側：画面を左右にフリックし、血中酸素の画面を表示すると測定を開始します。なお、手動測定の結果はアプリには記録されません。
  - 自動測定：アプリ側：WearLog+を起動→スマートフォンとスマートウォッチを接続→「デバイス設定」→「スイッチ設定」→「夜間血中酸素モニター」をオン。睡眠時無呼吸状態を検出して通知する場合は、「無呼吸状態検出」をオン
- 自動測定状態に設定すると、本製品は、夜間(00:00-7:00)に血中酸素濃度を自動的にモニターし、血中酸素濃度が90%を下回る数値を検出した場合、無呼吸睡眠アラートを表示します。
- 自動測定データの表示：アプリ側：“WearLog+”アプリを開く→ダッシュボード→血中酸素濃度→データを見る



無呼吸睡眠アラート画面

手動での血中酸素測定がうまくいかないときは

- 1.スマートウォッチ本体が動く精度が低下し、測定エラーになります。手首を机の上に乗せるなどして動かないようにしてください。
- 2.スマートウォッチ底面と手首の間にすき間ができないように、ベルトを締めてください。
- 3.スマートウォッチの装着位置をひじの方に上げ気味にすると、測定しやすくなります。
- 4.手首での測定がうまくいかない時は、指先など毛細血管の多い部分でセンサー窓と赤色LEDを覆うようにしても測定することができます。

## 1.5 睡眠モニタ

(1)機能紹介:睡眠時にスマートウォッチを装着してください。睡眠後、ウォッチ画面では睡眠時間や質、深い睡眠を表示します。"WearLog+"アプリでは、それに加えて、浅い睡眠、レム睡眠、それに加えて、目覚め時間、深淺睡眠時間分布図が表示されます。ウォッチの時刻で毎日0時にリセットされます。

### (2)操作説明

- スマートウォッチ側:時計文字盤から指で左右にフリックし、「睡眠」画面に切り替えます。または、メニュー画面を表示し睡眠をタップします。
- アプリ側:"WearLog+"アプリを開く→ダッシュボード→睡眠→データを見る



睡眠モニタ画面

## 1.6 体表温度

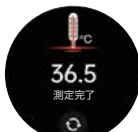
(1)機能紹介:本製品の底部にあるセンサーが手首の体表温度を測定します。5分間毎に自動的に測定することもできます。

### (2)操作説明

- スマートウォッチ本体での手動測定:測定に先立ち、温度センサーに体表温度を検出させるために、本製品を10分間装着してください。時計文字盤から指で左右にフリックし、「体表温度」画面に切り替えます。または、画面点灯状態でリユーズボタンBを短く押ししてメニューを表示し、「体表温度」をタップすると体表温度の画面が表示されます。測定開始の矢印アイコンをタップし、スマートウォッチを腕に装着したままの状態で10秒間ほど経過すると、温度センサーが測定した体表温度が表示されます。この手動測定のデータはアプリには記録されません。
- 体表温度自動検出の設定:"WearLog+"アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→「スイッチ設定」→「体温自動検出」をオン
- 体表温度記録の確認:"WearLog+"アプリを開く→ダッシュボード→体表温度→データを見る(データは60分間毎の数値が表示されます)



体表温度測定開始画面



体表温度測定完了画面



体表温度測定エラー画面

## 1.7 深呼吸

(1)機能紹介:本製品が深呼吸ガイドとなり、リラクセスを促します。

### (2)操作説明

スマートウォッチ本体:本製品の画面が点灯している状態でリユーズボタンBを短く押し、メニュー画面から「深呼吸」アイコンをタップすると、深呼吸の分数設定画面になります。「+」と「-」で分数を選択し、右矢印のスタートボタンを押すとスタートします。画面の指示に従い深呼吸してください。完了すると完了画面になります。繰り返す場合は、画面下の繰り返しボタンをタップすると分数設定画面に戻ります。



深呼吸の分数設定画面



ガイド画面



ガイド画面



完了画面

## 1.8 スマートフォンを探す

(1)機能紹介:スマートフォンがBluetoothでスマートウォッチと接続し、「WearLog+」アプリが起動している場合に、スマートウォッチの操作で、離れたスマートフォンから音を鳴らすことができます。(スマートフォンが消音設定の場合は鳴りません。)

### (2)操作説明

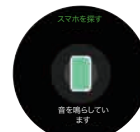
- スマートフォンを探す:時計文字盤を下にフリックし、クイックメニュー画面に切り替え、「スマホを探す」アイコンをタップします。(または、メニュー画面の「スマホを探す」アイコンをタップします。)ウォッチとスマートフォンがBluetooth接続している場合、スマートフォンでバイブレーション&お知らせ音が鳴ります。音量はスマートフォンの設定に依存します。Bluetoothが切断されている場合は、画面に未接続の表示がされます。Bluetoothが届かない距離の場合も同様です。
- 探すのをやめる:ウォッチの「スマホを探す」画面を右にフリックしクイックメニュー画面に戻る、またはリユーズボタンBの押下で、「スマホを探す」が中止されます。「スマホを探す」機能は1分間後に自動的に終了します。



クイックメニュー画面



メニュー画面



スマホ探し画面

## 1.9 ストップウォッチ

(1)機能紹介：一時停止機能付きストップウォッチです。

(2)操作説明：画面点灯状態でリユースボタンBを短く押し、メニュー画面を表示させます。メニュー画面を上下にフリックし、ストップウォッチアイコンをタップするとストップウォッチ画面が表示されます。スタートボタンで時間測定が始まり、一時停止/再開、リセットができます。



メニュー画面



ストップウォッチ画面

## 1.10 カウントダウン・タイマー

(1)機能紹介：この機能はカウントダウン式タイマーです。ウォッチで設定した時間に到達すると画面表示とバイブレーションでお知らせします。

(2)操作説明：画面点灯状態でリユースボタンBを短く押し、メニュー画面から「タイマー」アイコンをタップします。タイマー画面で時間を設定し、スタートボタンをタップするとカウントダウンを開始します。カスタム設定を選ぶと任意のタイマー時間を設定することができます。カウントダウン中にスタートボタンをタップするとカウントを一時停止します。一時停止に戻るボタンをタップすると、時間設定が元に戻ります。設定時間に到達するとカウント00:00:00を表示し、バイブレーションでお知らせします。



メニュー画面



タイマー画面

## 1.11 天気、気温の表示

(1)機能紹介：スマートフォンアプリと本製品を接続し、同期の操作を行うと気象データが同期されます。

(2)操作説明：時計文字盤を左右にフリックして、天気情報画面を表示します。



天気情報画面

## 2. 通知機能

### 2.1 アラーム

(1)機能紹介：スマートフォンアプリから本製品のアラーム設定を行うことができます。繰り返しアラームの設定が可能です。設定時刻になると、スマートウォッチは20回振動したのちに消灯し待機状態になります。

(2)操作説明：“WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→アラーム→時刻を設定

設定時刻になると、アラーム通知画面とバイブレーションでお知らせします。20回振動したのちに消灯し、待機状態になります。設定した時刻はメニュー画面のアラームアイコンをタップして表示されるアラーム確認画面で確認できます。設定したアラームを消去するには、時間設定画面で右上のゴミ箱ボタンをタップします。



メニュー画面



アラーム確認画面



アラーム通知画面

### 2.2 電話着信時のマナーモード切替、応答拒否

Bluetooth接続しているスマートフォンに電話着信があった時に、本製品に着信を通知し、また、本製品の操作でマナーモードに切り替えたり、応答拒否ができます。

(1)機能紹介

スマートフォンに電話着信すると、スマートウォッチが振動し、画面に着信通知を表示します。この画面で、スマートフォンのマナーモードへの切り替えや応答拒否の操作を行うことができます。操作後は、スマートウォッチの画面は消灯し待機状態になります。スマートフォンアプリでオン/オフ設定をします。

(2)操作説明

スマートウォッチ本体またはアプリで設定します。

(本体) 画面点灯状態でリユースボタンBを短く押し、メニュー画面を表示し、設定アイコンをタップ→メッセージ通知設定→「着信」をスイッチオン

(アプリ) “WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→通知→着信をオン

着信時の本体での操作

a.マナーモード：スマートフォンに電話が着信し、ウォッチが振動した時に、マイクアイコンをタップすると、スマートフォンがマナーモードになります。

b.応答拒否：スマートフォンに電話が着信し、ウォッチが振動した時に、オンフックアイコンをタップすると、スマートフォンは応答を拒否します。





着信通知画面



スマートウォッチから  
スマートフォンをミュート



スマートウォッチから  
着信を拒否

## 2.3 ショートメッセージ、アプリメッセージ通知

スマートウォッチで、ショートメッセージやアプリメッセージ通知の確認ができます。メッセージ通知は、3件までスマートウォッチに保存されます。

### (1)機能紹介

スマートフォンがショートメッセージやスマホアプリ (LINE、Facebook など) でメッセージを受信した時に、スマートウォッチでメッセージを確認することができます。

### (2)操作説明

a. オン/オフ設定：本体またはアプリで設定します。

(本体) 画面点灯状態でリユースボタンBを短く押して、メニュー画面を表示し、設定アイコンをタップ→通知設定→通知したいものをスイッチオン

(アプリ) "WearLog+"アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→通知→通知したいものをスイッチオン



メニュー画面



設定詳細画面



通知設定画面



メッセージ通知画面  
(リスト表示の例)

b. メッセージを閲覧：ショートメッセージを例にとると、スマートフォンがメッセージを受信した時、ウォッチが振動しメッセージを表示します。(3秒間操作のない場合、画面は消灯します)。タッチパネルをタップするとメッセージの次の画面を閲覧することができます。メッセージの最終画面でタッチパネルをタップするとメイン画面に復帰します。

c. 過去のメッセージ通知を見る：時計文字盤画面から上にフリックしてメッセージ通知画面に入り、過去のメッセージ通知を見ることができます (または、メニュー画面の通知アイコンをタップして見ることができます)。メッセージの最終画面でタッチパネルをタップすると通知リスト表示画面に復帰します。



メニュー画面

## 2.4 座りすぎアラート

### (1)機能紹介

座りすぎと判断する時間を設定し、設定時間を超えて座っている状態の時、スマートウォッチが画面表示とバイブレーションでお知らせします。スマートフォンアプリでオン/オフ設定をします。

### (2)操作説明

a. オン/オフ設定：“WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→座りすぎアラートのオン/オフ→開始時刻と終了時刻、座りすぎ判断時間を設定→保存



座りすぎアラート画面

## 2.5 Bluetooth接続切断通知

### (1)機能紹介

スマートフォンとのBluetooth接続が切断した場合、スマートウォッチに切断お知らせ表示、振動1秒間でお知らせします。3秒間の表示の後、画面は自動消灯します。スマートフォンアプリでオン/オフ設定をします。

### (2)操作説明

a. オン/オフ設定: "WearLog+"アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→スイッチ→接続切断アラートをオン/オフ→保存



Bluetooth 切断通知画面

## 2.6 運動目標達成通知

### (1)機能紹介

スマートフォンアプリで毎日の運動歩数目標を設定すると、スマートウォッチで目標達成表示とバイブレーションで通知します。

### (2)操作説明

"WearLog+"アプリを開く→設定→目標→歩数設定→保存



目標達成通知画面

## 3. 便利な機能

### 3.1 音楽コントロール

#### (1)機能紹介

スマートウォッチで、スマートフォンで起動中の音楽アプリの音楽再生や停止の操作ができます。

#### (2)操作説明

画面点灯状態でリユースボタンBを短く押し、メニュー画面から「ミュージック」アイコンをタップすると、本製品の音楽コントロール画面が開きます。



メニュー画面



音楽コントロール画面

### 3.2 カメラコントロール

#### (1)機能紹介

スマートウォッチをシェイクすることで、スマートフォンのカメラのシャッターを切ることができます。

#### (2)操作説明

##### (iOS)

スマートフォンのカメラアプリを開きます。本製品の画面が点灯している状態でリユースボタンBを短く押し、メニュー画面から「カメラ」アイコンをタップ、またはクイックメニューからカメラアイコンをタップするとカメラコントロール画面が開きます。この状態でスマートフォンを被写体に向けてスマートウォッチをシェイクする（振る）か、画面中央のカメラアイコンをタップすると、リモートでシャッターが切れます。

##### (Android)

スマートフォンで"WearLog+"を起動します。本製品の画面が点灯している状態でリユースボタンBを短く押し、メニュー画面から「カメラ」アイコンをタップすると、スマートフォンがカメラ画面になります。この状態でスマートフォンを被写体に向けてスマートウォッチをシェイクする（振る）か、画面中央のカメラアイコンをタップすると、リモートでシャッターが切れます。



メニュー画面



カメラコントロール画面

### 3.3 時計文字盤のカスタマイズ

#### (1)機能紹介

本製品の時計画面の文字盤を、さまざまなデザインパターンから選択することができます。

#### (2) 操作説明

画面点灯状態で文字盤画面を長押しすると文字盤選択画面になります。左右にフリックしてお好みの画面を表示し、画面を短くタップすることで選択が反映されます。

“WearLog+”アプリの設定画面から画面の切り替えを行うこともできます。

アプリ側：“WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→「文字盤」



文字盤選択画面

## 4. その他の機能

### 4.1 装着テスト

心拍数計測の際、それに先立って、正しく本製品が装着されているかどうかの自動テストを行い、装着方法に問題がない場合続けて心拍数測定を行います。装着方法に問題があり測定できない場合、自動消灯し待機状態となります。

### 4.2 測定データの同期

#### (1)機能紹介

スマートウォッチのデータはスマートフォンアプリと同期します。ユーザがアカウント登録していない場合は、スマートフォンアプリ内にデータが保存され、ユーザ登録済みの場合は、クラウドサーバにデータがアップロードされてデータの保全がなされます。

### 4.3 腕を上げて画面オン

#### (1)機能紹介

スマートフォンアプリで「腕を上げて画面オン」を有効にすると、時間を見る腕の振り上げ動作でウォッチ画面が自動点灯します。この点灯時間や動作を検知する感度も併せて設定できます。

#### (2)操作説明

オン/オフ設定：“WearLog+”アプリを開く→デバイス→デバイスアイコンをタップして「デバイス設定」→「腕を上げて画面オン」→開始時刻と終了時刻、感度を設定→保存

### 4.4 スイッチ設定

#### (1)機能紹介

スマートウォッチの画面上で「アラーム」、「(Bluetooth)接続切断アラート」、「腕を上げて画面オン」、「座りすぎアラート」などの機能のオン/オフ設定が可能です。

#### (2)操作説明

・アラームのオン/オフ

本製品の文字盤画面が点灯している状態でリユースボタンBを短く押してメニュー画面を表示し、メニュー画面を上下にフリックして「アラーム」→スイッチをオン/オフ

・各種アラートと機能のオン/オフ

本製品の文字盤画面が点灯している状態でリユースボタンBを短く押してメニュー画面を表示し、メニュー画面を上下にフリックして「設定」→「スイッチ設定」画面でそれぞれのスイッチをオン/オフにします。

## 4.5 その他

本製品は、スマートウォッチ側で画面輝度調整と画面がロックするまでの時間を設定することができます。画面点灯状態でリユーズボタンBを短く押し、メニュー画面から「設定」アイコンをタップ、またはクイックメニューから明るさアイコンをタップして、「明るさ」、「画面ロック時間」のそれぞれのアイコンをタップして設定します。



設定画面



スクリーン表示設定画面

## 故障かな?と思ったときは

### 本製品/アプリの再起動

リユーズボタンAを長押しして電源オフ/再起動画面表示、再起動アイコンをタップして本体を再起動することができます。なお、再起動後も設定情報や記録データは消去されません。

アプリは一度完全に終了してから再度起動してください(完全終了の操作はOSによって異なります。スマートフォンの取扱説明書を参照してください)。

### 本製品のリセット

リセットを行うと、設定情報はすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。操作については、9ページの「使用方法 5.工場出荷状態に戻す」をご覧ください。